

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		こども若者政策課
	02	01	01	02	01	

政策
こども・子育て当事者へのライフステージに応じた切れ目のない支援

政策の内容

安心してこどもを産み育てられる環境を整備し、幅広い分野が連携して、こどもや子育てにやさしい社会づくりを推進します。
ライフステージに応じた切れ目のない支援に取り組むとともに、デジタルの活用により子育て世帯の利便性の向上を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
子育て支援の充実	あなたの暮らしている地域では、子育て支援が手厚いと感じますか。	2.65	2.68				
家族・地域の理解・協力	あなたのご家族や暮らしている地域の方は、子育てに関する理解や協力があると感じますか。	3.17	3.18				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

・核家族化が進み、身近に子育てを支えてくれる親族等がいない世帯が増えており、保護者を孤立させない相談支援体制が求められている。
・共働きで子育てをする家庭が増えており、子育てと仕事の両立支援が求められている。また、教育・保育に係る施設や人材の充実など、こどもを安心して預けられる環境の整備が求められている。
・出会い・結婚・妊娠・出産・子育て・教育に関する必要な支援を切れ目なく提供するとともに、こどもや若者が自立するまでライフステージを通じて、社会全体でこども・若者及び子育て当事者を支えていく必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	288,941				
決算	284,906				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	6.5				
会計年度任用職員	3.6				
暫定再任用職員(31時間勤務)	1.6				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

※中央福祉事業所、浜名福祉事業所、天竜福祉事業所の人工を含む

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
こども計画推進 事業	「浜松市こども計画」に基づく事業の進捗管理 こども・子育て支援制度をはじめ、ひとり親家族の自立支援促進や若者支援など、施策・事業の円滑な推進を図る。	2,057
		1,629
浜松こども館管 理運営事業	浜松こども館の管理運営 児童を対象に遊びを通じた多様な社会・文化体験機能と交流機会を提供し、児童の健全育成を図る。	122,003
		121,998
家庭教育推進事 業	保護者が子育てやこどもの成長に喜びや生きがいを感じる健全な家庭教育の支援 家族の絆や家庭の役割、親子のふれあいについて考えることを通して、家庭教育の重要性について市民の理解を高め、家庭教育を見直す機会を提供する。	3,214
		3,000
子育て情報セン ター管理運営事 業	子育て情報センターの管理運営等 子育てにかかわる市民の拠点として、子育て関連情報の収集や提供、子育てを支援する人材の育成等を図る。	34,681
		34,483
子育て情報発信 事業	子育て施策や子育て支援に関する情報発信 子育て家庭や子育て支援関係者などに対し、子育て支援に関する施策や制度をHP、SNS、情報誌等で発信することで、より利用しやすく、よりタイムリーに必要な情報を提供する。	21,792
		21,418

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
青少年団体等活動助成事業(補助金)	青少年の健全な心身育成を図るため、地域社会において青少年の健全育成活動を実施する団体に対する助成 地域社会において、青少年の健全育成や豊かな人間形成に努める青少年団体等の活動を支援する。	5,000
		5,000
青少年の家運営事業	青少年の家の管理運営 創造的な体験や交流活動の場を提供し、次代の社会を担う青少年の健全な育成を図る。	46,648
		46,252
天竜自然体験センター運営事業	天竜自然体験センター「湖畔の家」の管理運営 船明ダム湖と周辺の森林を活用し、児童及び生徒の宿泊訓練並びに各種団体等の研修を通じて青少年の健全な育成及び生涯学習の推進を図る。	12,564
		12,113
青少年活動施設整備事業	青少年活動施設の整備 「青少年の家」及び天竜自然体験センター「湖畔の家」の整備・修繕により、適正な施設環境を維持する。	4,117
		4,016
青少年育成センター事業	青少年の非行や問題行動の未然防止と地域環境整備の促進を図る補導活動や環境浄化活動及び青少年育成センターの運営 青少年の非行防止と健全育成を図るため、関係行政機関や団体、ボランティア等が相互に連携し、補導活動や声掛け及び環境浄化活動を効果的に推進する。	4,683
		3,956

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
青少年健全育成 事業	青少年の健全育成を目的とする、声掛け運動・校区指導・地域交流などの実施 青少年の健全育成を目指し、学校、家庭、地域など子どもを取り巻くあらゆる立場の人と連携を とり、地域社会の環境浄化と教育力の向上に努める。	15,320
		15,197
青少年支援体験 活動事業	学校・社会において問題を抱える青少年の立ち直り支援策として、地域企業、事業所、ボランティア 団体の協力を得た職業体験活動等の実施 問題を抱える青少年の立ち直り支援のため、体験活動コーディネーターを配置し、地域企業・ 事業所、ボランティア団体等の協力を得て、職業体験活動やボランティア活動を実施する。	1,836
		1,476
私立学校教育振 興助成事業(補 助金)	市内私立小・中学校、高等学校における教育環境の改善や質の向上のため、各学校法人が行う 教育振興事業に対する補助を行う 私立学校の教育振興を図る。	15,026
		14,368

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
来館者数(人)	浜松こども館の来館者数	プログラムの見直しと充実を図るとともに、広報活動を強化することで、施設の魅力と認知度を向上させ、来館者の増加を目指す。	目標値	-	245,000	246,000	247,000	248,000	249,000
			実績値	244,293	241,862				
			達成率	-	99%				
子育て情報サイト びっぴ LINE プッシュ通知件数 (件)	子育て情報サイトびっぴ 公式LINEのプッシュ通知 件数	浜松市の子育て情報を必要な人により多く届けることで、子育てしやすい浜松を目指す。	目標値	-	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000
			実績値	311,377	368,150				
			達成率	-	77%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
こども館来館者 満足度(%)	市民への約束評価月間 におけるこども館来館者 アンケートの評価	来館者の満足度を測定し、施設の 運営改善につなげる。	目標値	-	90.0	90.5	91.0	91.5	92.0
			実績値	89.6	93.8				
			達成率	-	104%				
子育て情報サイト びっぴ LINE登 録者数(人)	子育て情報サイトびっぴ 公式LINEの登録者数	多くの人に登録してもらうこと で、浜松市の子育て情報を知っ てもらい、子育てしやすい浜松 を目指す。	目標値	-	13,000	15,700	18,400	21,100	23,800
			実績値	10,414	12,720				
			達成率	-	98%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
浜松市が子育てしやすいま ちだと思ふ人の割合(%)		浜松市こども計画 全体目標 ※こども・子育て支援に関す るアンケートにより毎年度算 出 ※計画期間が2025年度から のため2024年度実績は無し	実績値	-	57.4					増加
			達成率	-	-					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

結婚や出産の希望が叶い少子化の傾向に歯止めがかかるとともに、安心してこどもを産み育てられる子育て環境が整っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
こども計画推進事業	「浜松市こども計画」に基づく事業の進捗管理 2025年度から2029年度までの5か年計画の1年目として、「浜松市こども計画」の推進体制を整備した。	「浜松市こども計画」を着実に推進していくため、進捗管理を毎年行う。
浜松こども館管理運営事業	浜松こども館の管理運営 児童を対象に遊びを通じた多様な社会・文化体験機能と交流機会を提供し、児童の健全育成を図ることで、こども館来館者満足度が93.8%となった。	引き続き、浜松こども館の適切な管理運営を図る。
家庭教育推進事業	保護者が子育てやこどもの成長に喜びや生きがいを感じる健全な家庭教育の支援 未就学児の保護者等348人に対し、家庭教育講座及び父親向け講座を実施し、家庭教育の重要性について市民の理解を深めた。	引き続き、家庭教育推進事業を実施し、こどもが家庭において、基本的な生活習慣を身に付け、自立心が育まれるよう保護者の家庭教育に関する学びを支援する。
子育て情報センター管理運営事業	子育て情報センターの管理運営等 子育てにかかわる市民の拠点「浜松市子育て情報センター」において、子育て関連情報の収集や提供、子育てを支援する人材の育成等を行い、子育て環境の整備に取り組んだ。	引き続き、子育て情報センターの適切な管理運営を図る。
子育て情報発信事業	子育て施策や子育て支援に関する情報発信 子育て家庭や子育て支援関係者などに対し、子育て支援に関する施策や制度をHP、SNS、情報誌等で発信することで、より利用しやすく、よりタイムリーに、子育て情報を必要とする人へ有益な情報を提供した。	引き続き、子育て施策や子育て支援に関するタイムリーな情報発信を図る。
青少年団体等活動助成事業(補助金)	青少年の健全な心身育成を図るため、地域社会において青少年の健全育成活動を実施する団体に対する助成 地域社会において、青少年の健全育成や豊かな人間形成に努める青少年団体(浜松市子ども会連合会、ボーイスカウト浜松連合協議会、ガールスカウト浜松市協議会)の活動を支援した。	引き続き、青少年の健全育成活動を実施する団体を支援する。
青少年の家運営事業	青少年の家の管理運営 宿泊・施設利用者45,946人に対し、創造的な体験や交流活動の場を提供することで、次代の社会を担う青少年の健全な育成を図った。	引き続き、青少年の家の適切な管理運営を図る。
天竜自然体験センター運営事業	天竜自然体験センター「湖畔の家」の管理運営 宿泊・入浴・部屋利用者3,316人に対し、児童及び生徒の宿泊訓練並びに各種団体等の研修を通じて、青少年の健全な育成及び生涯学習の推進を図った。	引き続き、天竜自然体験センター「湖畔の家」の適切な管理運営を図る。
青少年活動施設整備事業	青少年活動施設の整備 「青少年の家」及び天竜自然体験センター「湖畔の家」の整備・修繕により、適正な施設環境を維持することで、青少年活動を支えた。	引き続き、青少年の家及び天竜自然体験センター「湖畔の家」の適切な施設環境を維持する。
青少年育成センター事業	青少年の非行や問題行動の未然防止と地域環境整備の促進を図る補導活動や環境浄化活動及び青少年育成センターの運営 青少年の非行防止と健全育成を図るため、関係行政機関や団体、ボランティア等が相互に連携し、青少年への声掛け・指導等による街頭補導活動を493回実施した。	引き続き、学校関係者や警察関係者から、少年らの動静等の情報を収集し、補導活動や声掛け及び環境浄化活動を効果的に実施する。

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
青少年健全育成事業	青少年の健全育成を目的とする、声掛け運動・校区指導・地域交流などの実施 青少年健全育成会連絡協議会の総会や研修会等を通じ、地域の青少年健全育成を推進した。また、善行を続けている青少年18人や8団体を表彰することにより、青少年の善行に関する機運の醸成を図った。	引き続き、各地域の実情に合わせた地域社会の環境浄化と教育力の向上を図ることで、地域に根差した青少年の健全育成を目指す。
青少年支援体験活動事業	学校・社会において問題を抱える青少年の立ち直り支援策として、地域企業、事業所、ボランティア団体の協力を得た職業体験活動等の実施 問題を抱える青少年の立ち直り支援のため、体験活動コーディネーターを配置し、地域企業・事業所、ボランティア団体等11か所の協力を得て、12人の職業体験活動やボランティア活動を実施したことで、自立や自己実現のきっかけづくりを図った。	引き続き、職場体験活動等を実施するとともに、新たな受入企業等の発掘を進める。
私立学校教育振興助成事業(補助金)	市内私立小・中学校、高等学校における教育環境の改善や質の向上のため、各学校法人が行う教育振興事業に対する補助を行う 10法人に対し、教育振興事業に対する補助を行ったことで、私立学校の教育振興を図った。	引き続き、各学校法人が行う教育振興事業に対する補助を行う。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

こども館の来館者数や来館者満足度の指標の進捗は、おおむね順調であった。アンケート結果を活用し、引き続き魅力的な施設の運営を図っていく。

子育て情報サイトびっぴLINEプッシュ通知件数及び子育て情報サイトびっぴLINE登録者数の指標は、目標に届かなかった。こども家庭センターの窓口等において継続的に周知を行うなどによりLINE登録者を確保することで、LINEプッシュ通知件数の増加を図り、子育て情報を必要とする人への情報発信に努めていく。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		子育て支援課
	02	01	01	02	02	

政策
こども・子育て当事者へのライフステージに応じた切れ目のない支援

政策の内容

安心してこどもを産み育てられる環境を整備し、幅広い分野が連携して、こどもや子育てにやさしい社会づくりを推進します。
ライフステージに応じた切れ目のない支援に取り組むとともに、デジタルの活用により子育て世帯の利便性の向上を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
子育て支援の充実	あなたの暮らしている地域では、子育て支援が手厚いと感じますか。	2.65	2.68				
家族・地域の理解・協力	あなたのご家族や暮らしている地域の方は、子育てに関する理解や協力があると感じますか。	3.17	3.18				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

浜松市こども計画に基づき、児童手当の支給や医療費助成等の実施により、こどものライフステージに応じた切れ目のない支援を実施している。
こどもや子育てにやさしい社会づくりの一環として、地域でこどもや子育て家庭を支えるこども食堂などの居場所づくりの推進が孤立防止の観点から重要であり、より多くの団体の参画により、より身近な場所で子育てを支援する場が展開されることが求められている。
また、子育て世帯を対象とした申請等のオンライン化については、こども医療費助成や児童扶養手当等が対象であるが、申請方法などをわかりやすく周知することが求められている。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	23,735,996				
決算	23,153,530				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	32.3				
会計年度任用職員	23.4				
暫定再任用職員(31時間勤務)	6.6				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

※中央福祉事業所、浜名福祉事業所、天竜福祉事業所の人工を含む

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
児童遊園等整備 支援事業	1 市児童遊園及び子どもの遊び場の整備 児童の健全な育成のため、市が設置している児童遊園及び子どもの遊び場の整備により、安全で充実した施設の維持管理を支援することで、児童への安全な遊び場を提供する。	22,021
	2 児童遊園地の整備費補助金 地域の児童の健全な育成のため、自治会が設置している児童遊園地の整備に対する補助により、安全で充実した施設の維持管理を支援することで、児童への安全な遊び場を提供する。	21,905
こどもの貧困対 策コーディネー ター配置事業	地域でこどもを支える体制づくりのため、「こどもの貧困対策コーディネーター」を配置し、地域の活動団体等の社会資源の発掘・こども食堂などの立上げ支援や団体間の連携促進を図るとともに、市民の意識啓発や支援者の資質向上など団体活動支援を実施する。	5,650
		5,650
学習支援事業	1 学習支援事業 経済的困難を抱える家庭の中学生に対し、学習習慣の定着及び進学に向けた学習支援を行う場所を提供することにより、学習や進学に対する意欲を高め、貧困の連鎖を断ち切る。	21,105
	2 大学受験料及び模擬試験受験料の支援 学習支援教室を利用することの進学を支援するため、高校3年生及び中学3年生の大学等受験料及び模擬試験受験料を助成する。	20,642
生活支援居場所 事業	ひとり親家庭や生活困窮世帯など経済的困難等を抱える家庭の小・中学生に対し、学習機会の提供や生活支援などを行う場所を提供することにより、将来の自立に必要な学びの基礎となる生活面の安定を図り、貧困の連鎖の防止を達成する。	47,649
		46,730
こどもの貧困対 策総合支援事業	1 子育て世帯に対するフードパントリー事業 生活に困窮する子育て世帯に対し、食料品や生活用品等を配付するとともに、困りごとの相談や支援策の情報提供により、社会的孤立の解消を図る。	21,794
	2 こどもの居場所づくり助成事業 こども食堂等こどもの居場所を提供するNPO法人に対し、運営、立上げの補助を行うことで、困窮や貧困を抱える子育て世帯の支援を行う。	21,604
生活困窮世帯へ の習い事等支援 事業	経済的理由等で習い事等に通えないこどもの習い事や学習塾等にかかる費用の一部をクーポンにより助成することで、学校外の教育機会を提供し、学力や非認知能力の向上を図り、将来の自立につなげていく。	42,156
		29,575

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
母子家庭福祉対策事業	ひとり親家庭等を対象に、自立促進と生活の安定を図るため、就業支援、生活支援等を行う。 1 ひとり親家庭等日常生活支援事業 2 相談支援・生活支援講習会事業 3 母子家庭等就業・自立支援事業 4 母子・父子自立支援プログラム策定等事業 5 高校卒業認定試験合格支援事業 6 養育費確保支援事業 7 ひとり親家庭住宅資金貸付事業	30,290
		23,040
ひとり親家庭等自立支援給付金事業	1 自立支援教育訓練給付金事業 ひとり親家庭の親の雇用安定及び就職促進のため、ひとり親家庭自立支援給付金を支給することにより、雇用の安定及び就職の促進を図る。 2 高等職業訓練促進給付金等事業 市が指定する資格を取得するために6ヶ月以上養成機関で修業する場合、修業期間中の高等職業訓練促進給付金及び訓練修了後の高等職業訓練修了支援給付金を支給する。	59,366
		49,395
ひとり親家庭等医療費助成事業	市内に住所があるひとり親家庭等を対象に、入院・通院医療費の保険診療に伴う自己負担分の一部を助成し、保護者の経済的負担及び心理的不安の軽減を図る。	328,613
		292,910
遺児等福祉手当支給事業	児童の父母等が交通事故、病気等により死亡し、または障害の状態となった場合のその遺児等を対象として、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を監護する保護者に手当及び援護金の支給する。 1 遺児等福祉手当 2 進級遺児援護金 3 新入学遺児援護金 4 中学卒業遺児援護金 5 修学旅行援護金	21,206
		20,449
児童扶養手当支給事業	18歳に達する以後の最初の3月31日までの間にある児童を監護するひとり親家庭等に対し所得制限額に応じた手当を支給し、父または母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進及び児童の福祉の増進を図る。	2,149,218
		2,073,639
こども医療費助成事業	18歳年齢到達の年度末までのこどもの入院・通院医療費の保険診療に伴う自己負担分の一部を助成し、こどもの疾病やケガの早期発見・早期治療による医療費抑制と保護者の経済的負担及び心理的不安の軽減を図る。	3,810,350
		3,699,521

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
児童手当支給事業	児童手当法(平成24年4月1日施行)に基づき、児童を養育する者に対して児童手当を支給することで、家庭等の生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな育ちに資する。	16,692,788
		16,497,810
家庭福祉デジタル運営経費	1 児童福祉システムの運用保守業務 児童福祉システムの運用保守及び機器等賃貸借を行い、円滑な児童福祉システムの運用を達成する。 2 システム標準化対応及びガバメントクラウド移行対応業務 3 児童福祉システム改修業務 PMH対応及び児童福祉システム改修業務(データ標準レイアウト改版対応) 4 児童福祉システムソフトウェア等賃貸借	235,326
		234,728
母子父子寡婦福祉資金貸付金	母子父子寡婦福祉資金の貸付を行うことにより、母子家庭及び父子家庭並びに寡婦に対し生活の安定や扶養する児童の福祉の増進を図る。	248,464
		115,932

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
生活困窮世帯への 習い事等支援 事業の参画教室 数(箇所)	クーポン利用ができる教室 の数	生活困窮世帯への習い事等支援事業の利用のしやすさを図る指標であり、参画教室数の増加により、利用する小学生の数が増える見込んでいる。	目標値	-	200	225	250	275	300
			実績値	142	229				
			達成率	-	115%				
こどもの居場所 づくり助成を受け た会場数(箇所)	採択された会場の数	居場所づくりの効果を測る指標であり、助成を受けた会場数の増加により、「こどもの居場所の会場数」の指標の向上に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	17	17	17	17	17
			実績値	18	24				
			達成率	-	141%				
児童扶養手当に 必要な現況届の オンライン申請者 (人)	オンライン申請者の数	申請手続きのデジタル化の効果を図る指標であり、オンライン申請により市民の利便性向上に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	200	300	400	500	600
			実績値	132	145				
			達成率		73%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
生活困窮世帯への 習い事等支援 事業の利用者数 (人)	生活困窮世帯への習い事等支援事業で交付を受け、習い事応援クーポンの利用登録をした小学4年生から6年生までの人数	本政策の内容に関し、こどもや子育てにやさしい社会づくりが求められることから、家庭の経済状況に関わらず、習い事にチャレンジできる取り組みが必要である。 この指標により、「浜松市が子育てしやすいまちだと思ふ人の割合」の向上につながることを見込んでいる。	目標値	-	255	275	300	325	350
			実績値	238	224				
			達成率	-	88%				
こどもの居場所 の会場数(会場)	市が把握できているこどもの居場所(こども食堂・学習支援などのこどもが無料または低額で利用できる居場所)の数	本政策の内容に関し、こどもや子育てにやさしい社会づくりが求められることから、こどもの居場所を提供する取り組みが増えることで、地域で子どもを見守る活動を促進する必要がある。 この指標により、「浜松市が子育てしやすいまちだと思ふ人の割合」の向上につながることを見込んでいる。	目標値	-	55	58	61	64	67
			実績値	52	48				
			達成率	-	87%				
閉庁日・閉庁時間 に児童扶養手当 の現況届のオン ライン申請をし た人数(人)	閉庁日・閉庁時間でのオンライン申請者の数	本政策の内容に関し、デジタルの活用により子育て世帯の利便性を図る取り組みが必要である。 この指標により、「浜松市が子育てしやすいまちだと思ふ人の割合」の向上につながることを見込んでいる。	目標値	-	130	195	260	325	390
			実績値	86	89				
			達成率	-	68%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
浜松市が子育てしやすいま ちだと思ふ人の割合(%)		浜松市こども計画全体目標 ※こども・子育て支援に関す るアンケートにより毎年度算 出 ※計画期間が2025年度から のため2024年度実績は無し	実績値	—	57.4%					増加
			達成率	—	—					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

全てのこどもや若者が、生まれ育った環境や家庭の経済状況に左右されことなく、権利の擁護が図られ、将来に夢や希望を持つことができる。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
児童遊園等整備支援事業	1 市児童遊園及び子どもの遊び場の整備 児童の健全な育成のため、市が設置している児童遊園等70か所の遊具等を修繕し、安全で充実した施設の維持管理を支援することで、児童への安全な遊び場を提供した。 2 児童遊園地の整備費補助金 地域の児童の健全な育成のため、自治会が設置している児童遊園地の整備に対し23自治会に補助することにより、安全で充実した施設の維持管理を支援することで、児童への安全な遊び場を提供したが、補助の要望が増えており、全てに対応できないという課題がある。	引き続き、施設の維持管理を支援することで、児童への安全な遊び場を提供するとともに、補助事業費を確保し要望に対応する。
こどもの貧困対策コーディネーター配置事業	地域でこどもを支える体制づくりのため、「こどもの貧困対策コーディネーター」を配置し、地域の活動団体等からのこども食堂などの運営、立上げや立ち上げの相談に応じる(相談等対応件数545件)とともに、連絡会開催による団体間の連携強化や、寄附を申し出た企業等と活動団体のつなぎなど、地域支援ネットワークの強化を行った。	引き続きコーディネーターを配置し、地域における支援体制を継続する。
学習支援事業	1 学習支援事業 経済的困難を抱える家庭の中高生に対し、学習習慣の定着及び進学に向けた学習支援を行う場所を提供した(市内6会場、延べ参加人数5,297人)。 2 大学受験料及び模擬試験受験料の支援 学習支援教室を利用するこどもの進学を支援するため、高校3年生及び中学3年生の大学等受験料及び模擬試験受験料を助成した(利用者数86人)。	引き続き学習支援及び受験料支援を実施し、こどもの学力向上や進学を図る。
生活支援居場所事業	ひとり親家庭や生活困窮世帯など経済的困難等を抱える家庭の小・中学生に対し、学習支援、居場所づくり及び生活支援を行う場所を提供した(市内21会場、延べ参加人数9,381人)	引き続き学習面と生活面での支援を行う。
こどもの貧困対策総合支援事業	1 子育て世帯に対するフードパントリー事業 生活に困窮する子育て世帯に対し、食料品や生活用品等を配付するとともに、困りごとの相談や支援の情報提供を行った(12回開催、延べ配付数1,723世帯)。 2 こどもの居場所づくり助成事業 こども食堂等こどもの居場所を提供するNPO法人に対し、運営、立上げの補助を行うことで、困窮や貧困を抱える子育て世帯の支援を行った(助成会場24、うち新規会場4)。	フードパントリー事業について、物価高騰などを受けニーズが増加しているため、引き続き配付会を開催する。 こどもの居場所づくり助成事業について、新たに体験交流活動を補助対象に加え、多様なこどもの居場所の実施を支援していく。
生活困窮世帯への習い事等支援事業	経済的理由等で習い事等に通えないこどもの習い事や学習塾等にかかる費用の一部をクーポンにより助成することで、学校外での教育機会を提供した(利用者139人)。	令和8年度から対象を小学1年生から3年生まで追加し、より一層経済的理由等で習い事等に通えないこどもの将来の自立につなげていく。
母子家庭福祉対策事業	ひとり親家庭等を対象に、自立促進と生活の安定を図るため、就業支援、生活支援等を行った。 1 ひとり親家庭等日常生活支援事業(子育て支援128件、生活支援46件、両支援174件) 2 相談支援・生活支援講習会事業(浜松市ひとり親ふくし会: 延べ相談件数18件、生活支援講習会: 計10回開催、延べ参加人数96人) 3 母子家庭等就業・自立支援事業(ひとり親サポートセンター: 延べ相談者数3,253人) 4 母子・父子自立支援プログラム策定等事業(プログラム策定件数18件) 5 高校卒業認定試験合格支援事業(R7実績無し) 6 養育費確保支援事業(公正証書等による債務名義の作成補助件数61件) 7 ひとり親家庭住宅資金貸付事業(貸付決定者数14人)	引き続き母子家庭福祉対策事業を実施し、ひとり親家庭等の自立促進と生活の安定を図る。

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
ひとり親家庭等 自立支援給付金 事業	1 自立支援教育訓練給付金事業 ひとり親家庭の親の雇用安定及び就職促進のため、自立支援教育訓練給付金を支給することにより、雇用の安定及び就職の促進を図った(対象者20人)。 2 高等職業訓練促進給付金等事業 市が指定する資格を取得するために6ヶ月以上養成機関で修業する場合、修業期間中の高等職業訓練促進給付金及び訓練修了後の高等職業訓練修了支援給付金を支給した(対象者37人)。	引き続きひとり親家庭等自立支援給付金事業を実施し、ひとり親家庭等の雇用の安定及び就職の促進、自立支援を図る。
ひとり親家庭等 医療費助成事業	市内に住所があるひとり親家庭等を対象に、入院・通院医療費の保険診療に伴う自己負担分の一部を助成し、保護者の経済的負担及び心理的不安の軽減を図った(延べ助成件数106,872件)。	令和8年10月から小中学生の通院費用を原則無料、全年代において入院時の食事療養費も助成対象とし、ひとり親家庭等の経済的負担軽減を図る。
遺児等福祉手当 支給事業	支給要件に該当する児童を監護・養育する受給者へ遺児等福祉手当を支給した(延べ児童数1,959人)。	引き続き受給資格を有する受給者に対し、遺児等福祉手当の支給を実施する。
児童扶養手当支 給事業	支給要件に該当する児童を監護・養育する受給者へ児童扶養手当を支給した(延べ支給者数:全部支給者26,507人、一部支給者20,994人、計47,501人)。	引き続き受給資格を有する受給者に対し、児童扶養手当の支給を実施する。
こども医療費助 成事業	18歳年齢到達の年度末までのこどもの入院・通院医療費の保険診療に伴う自己負担分の一部を助成し、保護者の経済的負担及び心理的不安の軽減を図った(延べ助成件数:乳幼児618,563件、小・中学生781,240件、高校生世代236,785件、計1,636,588件)。	令和8年10月から小中学生の通院費用を原則無料、全年代において入院時の食事療養費も助成対象とし、保護者の経済的負担軽減を図る。
児童手当支給事 業	令和6年10月の制度改正による手当の拡充を踏まえ、受給者へ児童手当を支給した(延べ児童数1,289,315人)。	引き続き児童手当受給者に対し、手当支給を実施する。
家庭福祉デジタ ル運営経費	1 児童福祉システムの運用保守業務 2 システム標準化対応及びガバメントクラウド移行対応業務 3 児童福祉システム改修業務 PMH対応及び児童福祉システム改修業務(データ標準レイアウト改版対応) 4 児童福祉システムソフトウェア等賃貸借	引き続き児童福祉システムの運用保守並びに必要な応じたシステム改修を実施する。
母子父子寡婦福 祉資金貸付金	母子父子寡婦福祉資金の貸付を行うことにより、母子家庭及び父子家庭並びに寡婦に対し生活の安定や扶養する児童の福祉の増進を図った(貸付件数:新規74件、継続101件、計175件)。	引き続き事業を実施し、ひとり親家庭の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図る。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

2025年度、指標の進捗は概ね順調であったが、児童扶養手当のオンライン申請については申請者数が目標値に達していないため、わかりやすい周知に努める。2026年度は、こども医療費助成事業及びひとり親家庭等医療費助成事業において、小中学生の通院費用を原則無料とする等、制度の拡充を予定している。また、生活困窮世帯への習い事等支援事業では、対象を小学1年生から3年生まで追加する等、これらの事業の制度拡充を通して、より一層取り組みの強化を図っていく。